

2001 年度解析学 XF・無限次元構造論の講義内容

河東泰之 (かわひがしやすゆき)

数理科学研究棟 323 号室 (電話 5465-7078)

e-mail: yasuyuki@ms.u-tokyo.ac.jp

<http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~yasuyuki/>

この講義は 4 年生, 大学院生を対象にしたものですが, 作用素環の基礎は知っているものとして, 富田・竹崎理論と Connes による III 型 factor の分類理論を取り扱います. 毎週金曜日の 13:00 ~ 14:30 に, 数理科学研究棟の 118 号室で講義を行います.

具体的な予備知識としては, von Neumann 環の基礎的性質, factor の type I, II, III への分類, normal state の性質, GNS 表現などを仮定します.

一般論よりは, 具体的な例を中心に扱う予定で, 荒木-Woods による ITPFI factor, Krieger factor の分類や性質を中心に解説します. 最初は, von Neumann 環の接合積, 無限テンソル積のあたりからスタートします.

なお, 中国, ドイツ出張のため, 10 月 12, 19 日, 12 月 14 日は休講です.